

2009.12.14「天皇陛下の政治利用反対。小沢幹事長は無礼である。」

おはようございます。参議院議員の西田昌司です。

民主党の小沢代表が、国会議員140名を含む総勢600名を超える訪中団で、中国に行かれました。そのことを受けて、今日から3日間、中国の習近平副主席が、日本に来られています。

これに関連して、急遽、天皇陛下と習近平副主席との会談がセットされました。普通は1ヶ月前に天皇陛下の日程を調整するわけですが、そのような慣例を著しく逸脱する行為です。

まさに、天皇陛下を政治利用して、この会見を認めさせたということです。自らが国会議員を引き連れ、自らの権勢を中国側に示した。その答礼で、今度は中国の副主席がやってくる。そのお礼に、天皇陛下と会見させてあげようというのは、天皇陛下の政治利用にとどまらない。天皇陛下が、まるで小沢さんの僕（しもべ）であるかのような形で、この会見を約束しているのではないか。そういう風にすら、私には感じられます。これは断じて許されるものではありません。

国会も、4日までではなく、本当はもっと伸ばしてしっかりと議論したかったのです。特に政治とカネの問題、各法案について、私たちはしっかりと議論し、民主党の出す法案がいかにかたがたかということ国民に示したかったわけです。そのために時間をとって貰ったかったのですが、それもできませんでした。

その一番大きな要因が、小沢さんが国会議員を連れて早急に10日から中国に出るためであった、とも言われています。国会という国権の最高機関の役割を初めから無視し、自らの都合で国会の日程も決めさせる。そして、その返礼・答礼で来る国家副主席には、ルールを無視して天皇陛下との会見を行う。一体、誰のために何のために政治をしているのか。断じて、許されないと思っております。

今日、私は残念ながら地元京都で行事がありますので、東京に行けません。明日行くのですが、今日、すでに習近平さんが来られるということです。ですから、同志の先生方と一緒に、とりあえず抗議の声明だけは鳩山総理と小沢幹事長に出そうと思っております。

いずれ、この問題を国会でも追及したいと思っております。私は、政治利用というよりも、全く無礼なことだと思うのです。どうか皆さん方も、こうした天皇陛下の政治利用を、断じて許してはならないと思います。そのことをお話しさせて頂いて、本日のビデオレター終わらせて頂きます。ありがとうございました。